

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 結果

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・特別支援学級と通常学級、また特別支援学級間の連携推進が不十分だったので改善をすすめていく。
・個が生きる学級集団づくりという点で課題が見られたので、学級づくりについて研修会を開催し担任のスキルアップを図る必要がある。
2 学校教育目標
「明るく元気なあいさつができる子ども」「最後まで粘り強く学ぶ子ども」「百の力で体を鍛える子ども」を具体的な目標に掲げ、旭を愛し、共に学び、たくましく生きる児童の育成を目指す。
3 本年度の重点目標
①特別支援教育の充実を図る。
②個が生きる学級集団づくりを目指す。
③学力の向上を図る。
④地域社会との連携・協働を推進する。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組: ●全職員による共通理解と共通実践
●学力の向上
●心の教育
●健康・体づくり
●業務改善・教職員の働き方改革の推進
評価項目: 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組
中間評価: 進捗度(評価), 進捗状況と見通し
最終評価: 達成度(評価), 実施結果
学校関係者評価: 評価, 意見や提言
主な担当者: 松尾 亨(指導教諭・学力向上), 田中和江(学力向上・算数主任), 今里裕美(図書館教育), 大隈章子(道徳教育推進教師), 山口こみ(こころ部部長), 坂口滋子(人権担当), 川内 織(特活主任), 西山健太(体育主任), 白濱知恵(給食担当), 大井雅子(安全担当), 夏秋松子(教頭)

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組: ★教科「日本語」の実践充実
★小中一貫教育の充実
○通常学級や外部関係機関との連携充実
○特別支援教育の充実
○行事再編に係る地域との連携強化
○地域社会との連携・協働
評価項目: 重点取組内容, 成果指標(数値目標), 具体的取組
中間評価: 進捗度(評価), 進捗状況と見通し
最終評価: 達成度(評価), 実施結果
学校関係者評価: 評価, 意見や提言
主な担当者: 鶴田善幸(主幹教諭), 天本早百合(特支主任), 太田里佳子(特支主任), 井手素雄(教頭)

5 総合評価・次年度への展望
・支援が必要な子ども一人一人のニーズに応じた教育を行うため、特別支援教育の更なる充実を図ります。
・特別活動を中心に据えた、個が生きる学級集団づくりを推進します。
・効果を検証しつつ教育活動の質の向上を図り、地域と連携し学習効果の最大化を目指します。
・学校行事の精選と地域連携による再編により、地域や社会に貢献できる学校を目指します。